

スポーカル六本木

スポーカル六本木では、親子で参加できるスポーツ教室を開催しています。

子どもたちに様々な運動を楽しく経験させてあげること、どんな運動も、どんなスポーツも、元気にめいっぱい楽しめるようにしてあげたい。

また、親と子が一緒にスポーツをすることで共通の会話が増えたり、日頃運動不足のおとうさん、おかあさん自身の健康増進やストレス発散にも繋がります。

今年は、シルク・ド・ソレイユ登録アーティストによるダンス教室を開催しました。2020年とその先の未来に向かって頑張っている全ての人を応援する新しい歌「パブリカ」のダンスをみんなで一緒に踊りました。



スポーカル高松

平成25年7月7日に、港区で2つ目の総合型として誕生した受益者負担の自主運営のクラブです。今年度の会員数は大人、子ども約150名の現状です。

近隣の高松中学校、高輪台小学校、白金小学校、白金台児童館で各種教室を開催しています。通常の教室に加え東京都広域スポーツ事業団の後援を受け今年度下記の事業を開催しました。

9月16日(祝)

「スポーツウェルネス吹矢体験会」東京都シニアスポーツ振興事業

9月22日(日)

「なんでもできるよスポーツ体験」都民参加事業(スポンジボールテニス、新体操、ボクシング、赤ちゃんとママ・パパのための教室、ポッチャ等数々の種目の体験)

幼児から大人までどなたでも参加でき楽しめる体験会を定期的に開催しています。

詳しくは「スポーカル高松のお知らせ」(ピンク色)にて確認いただけます。

「スポーカル高松のお知らせ」は区内の図書館のチラシの棚に配置があります。

スポーカル青山

平成30年4月にスポーカル青山設立準備委員会を発足させて、毎月会合を重ね、令和元年9月22日にスポーカル青山として設立を迎えました。

スポーカル青山は多種多様なスポーツや文化活動を楽しみつつ、1人ひとりが「ウェルネス」の実現を目指し活動してまいります。みなさまのご参加をお待ちしております。



関東スポーツ推進委員研究大会

6月7日(金)・8日(土)に令和元年度関東スポーツ推進委員研究大会が埼玉県さいたま市「大宮ソニックシティホール」で行われました。港区からはスポーツ推進委員3名と行政職員1名が参加しました。1日目は東洋大学陸上競技部長距離部門監督の酒井俊幸さんの講演「その1秒をけずりだせ」を受講し、2日目は第2分科会の「障がい者スポーツとの共生社会へ～障がい者スポーツを地域へ広める」に参加しました。今回学んだ内容を東京2020大会をはじめとして、今後のスポーツ推進活動に活かしていきたいと思っております。



スポーツ推進委員だより

みなすぽ

第98号

令和元年10月発行

編集 港区スポーツ推進委員協議会

発行 港区教育委員会事務局教育推進部

生涯学習スポーツ振興課

東京都港区芝公園 1-5-2 5

電話(3578)-2111 内線 2747

令和元年度東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会(第一ブロック)

7月6日(土)に港区スポーツセンターで「令和元年度東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会(第一ブロック)」が行われました。港区・千代田区・中央区・新宿区の合計84名ものスポーツ推進委員と行政職員が参加し、「『する』『みる』『支える』『知る』障がい者スポーツ～パラリンピックに向けてスポーツ推進委員ができること～」をテーマに基調講演と実技研修を行いました。基調講演は、「スポーツを支えるボランティア～障がい者スポーツの推進に向けて～」というテーマで、文教大学人間科学部人間科学科二宮雅也准教授に講演頂き、「支える」と「支えられる」といった関係性ではなく、「支えあう」ことの大切さを学びました。

実技研修は、一般社団法人日本パラバレーボール協会男子チームの指導により、「シッティングバレーボール」を行いました。基本技術のオーバーハンドとアンダーハンドのパスを練習したのちに、各区対抗でゲームを行い、大いに盛り上がる研修会となりました。



会長挨拶 令和のスポーツ推進委員は? (港区スポーツ推進委員協議会会長 今野 由理子)

昭和から平成半ばまでは、スポーツは一部の運動能力に恵まれた人のみが行うというイメージがありました。しかし、平成23年に制定された「スポーツ基本法」によってスポーツの定義が変わり、スポーツ推進委員の役割も変化してきました。スポーツを「する」「みる」「支える」というポイントで実施することによって生まれる「スポーツの力」を子どもの体力不足問題や地域コミュニティづくり、高齢社会の健康問題などに対応していくことが私たちには求められています。また、スポーツ庁が目標とする「スポーツ実施率65%」にどう取り組むかもこれからの課題になっていくのではと思っています。

